



# イーマ・サウンドセラピー

## OTOtronを使用した施術の手順書

(プラクティショナー用)



# はじめに

この手順書は、OTOtronシステムを使ったイーマ・サウンドセラピー プラクティショナークラス  
の施術方法を標準化したテキストです。

OTOtronを使ったイーマ・サウンドセラピーでは、イーマ・サウンド音源に加えて、チャクラ位置  
に対応する光を使い、エネルギーの回転方向や、施術者のあり方など、セラピーセッションを通じ  
て、施術者を中心とした場を統合するために、高度な全体像の理解が求められます。

しかし、単に難しいばかりでは何も身につけることができません。

そこで、プラクティショナークラスでは、イーマ・サウンドの楽しさ、心地よさに触れながらも、  
基本をしっかりと身につけられるよう、施術方法の難しさをできるだけ排除した手順を松下先生と  
ともに再構築しました。それがこの手順書です。

本書の内容を通じて、クライアントをお迎えするまでのお部屋の準備や、ベースとなる音の選択、  
イーマ・サウンドセラピーの準備から、仕上げまでの手順を学び、基本をしっかりと身につけてく  
ださい。

現代は、天候や自然災害などを見ても分かるように、環境が目まぐるしく変化を続けています。  
本書は、地球環境の変化、機材や音の進化、そして人々が持つ集合意識の変化などに応じて、予告  
なく内容が改定される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Bioluxでは、皆さまの施術レベルが低下しないよう、講座の再受講制度やアフターフォローの充実  
に努めています。プラクティショナー講座についても、適宜再受講を受けていただき、皆さまが、  
イーマ・サウンドと機材・心のあり方に対する理解を深めて頂ければ幸いです。

## 1) 施術部屋の準備をしましょう！

クライアントをお迎えする前に、あらかじめセラピールームに音を流して場を整えましょう。

鳴らすべき音：1～8番までのチャクラの音、バランス、水、髄液の音をクライアントが来る前から鳴らし、音のエネルギーを部屋に充満させておくようにしましょう。

### ★なぜ音を鳴らしておくのか？

理由1：場のエネルギーを上げ、合わないクライアントの反応を見ることができる。

理由2：スピーカーの音を聞くことで、ノイズ・音割れが起きていないかチェックできる。

理由3：施術者のエネルギーレベルを高める効果があるため。

## 2) クライアントをできるだけくつろがせてあげましょう！

ご来院頂いてから、クライアントには必ず岩塩体操をしてもらいましょう。

岩塩体操をして貰うことで、喉のチャクラの大きなズレを正し、音を受け入れやすくします。

## 3) 現状分析表をクライアントに記入してもらいましょう。

「この分析の理由及び、クライアントが個人的に自分の医学的症状には責任を持って、主治医の医師に相談すること」に必ず同意をいただくようにしましょう。

そのため、必ず名前だけはクライアント本人に記入して貰うようにしてください。

【重要】これは医療的な診断ではなく、また、それに代わるものでもありません。

この分析はクライアントのエネルギーとそのバランスを判断し、そのエネルギー状態に対するコンサルおよび調律・調整をするために作成するものです。

## 4) できる限りクライアントの話を聞く努力をしましょう。

クライアントの話を事前に聞いておくことで、エネルギー体の歪みをより正確につかめるようになります。イーマ・サウンドセラピーは占いではないので、音を通じてクライアントの秘密を暴くことが目的ではありません。きちんと話を聞き、クライアントとの信頼関係を築き、セッションに臨むようにしましょう。

## 5) 基本の音を準備しましょう！

基本の音として、以下のものを設定してください。

第1～第8のチャクラの音。胃、腸（十二指腸）、腸（小腸）、腸（大腸）、髄液、エーテル体、オーラ、肝臓、膵臓、脾臓、腎臓、膀胱、首、松果体、仙骨、尾骨、脊椎関節、脊椎椎間板、水、バランス、男性は前立腺、女性は子宮、卵巣、卵管）

各音源のボリュームは、20～30位からはじめ、クライアントの反応を見ながら、徐々に大きくし、概ね50以下で運用する（クライアントの反応を見て、ボリュームを調整する）

## 6) アクセサリー類を外してもらいましょう！

調律・調整中は、クライアントの体を制限し、エネルギー調整の邪魔となる金属ベルトやアクセサリ、パワーストーン、ヘアクリップ、ピン、腕時計は外してもらいましょう。



## 7) 静寂な環境を心がけましょう！

クライアントはリラックスして、調律・調整中は寝ていただくのが一番です。施術部屋はできるだけ静寂な環境となるように心がけてください。



☆クライアントの反応がおかしいと感じた場合は直ちに施術を中止し、セッションを終了してください。

## 【仰向けの施術】

### 8) クライアントにあお向けで寝てもらいましょう。

ベッドにあお向けで寝てもらい、顔の目の位置、喉から下の胴体に優しくタオルをかける。

「タオル失礼しますね♪」と一声掛けるようにしましょう。

また、かけたタオルにシワがないよう伸ばすようにしましょう。



### 9) お腹の状態確認①

タオルを掛けた後「お腹を触りますね」と一声掛けてから、お腹の状態を手のひらで優しく触り状態を確認しましょう。



## 10) 喉元に岩塩を置く

タオルのうえ、喉元（鎖骨と鎖骨の中央）に岩塩を置き、「ラー」と声を出してもらおう。



## 11) 必要な音を追加する

現状分析表を見て、基本の音以外に必要な音を入れる。手術で取った臓器のエネルギーの鑄型の音は必ず入れること。※例えば、盲腸や甲状腺を取っている場合など。

## 12) OTOTronスピーカーの準備

スピーカーの回転を2つとも左回転にセットする。喉元には紺色にセットしたスピーカーを置き、もう片方をグリーンにして手に持つ。



## 13) チャクラ位置の確認

喉のスピーカーは動かさずに置いておく。グリーンスピーカーで、チャクラの位置を確認し、その都度カルテにチャクラ位置の記録をつけましょう。

(順番は、チャクラ6番、5番、4番、3番、2番、1番、7番、8番)

☆頭は敏感な方が多いので、7番、8番のチャクラは、素早く確認するようにします。



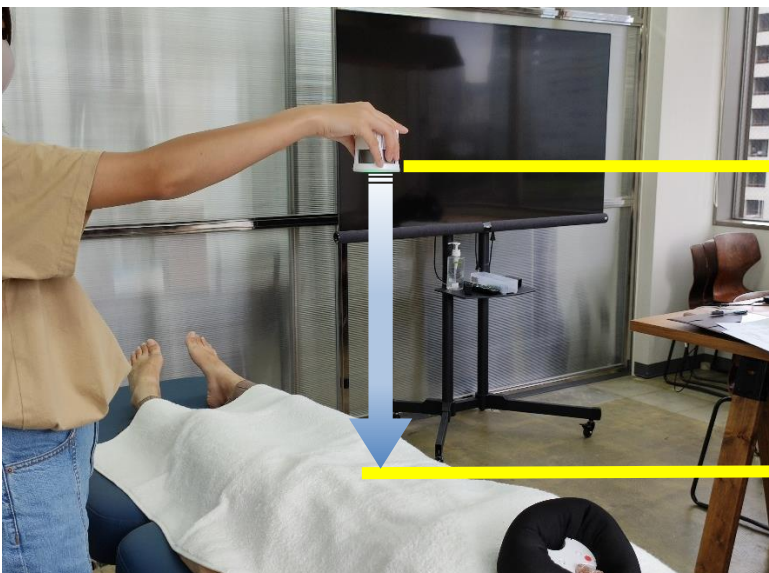
## 14) メンタル体の雲を取る (あお向け)

身体のある理想的なチャクラの位置の上で、手を真っ直ぐ伸ばしたところを0歳とし、そこから現在の年齢の身体までの距離にあるメンタル体の雲（エネルギーの乱れ）を取る。

違和感のある高さのところでしばらく止めておき、軽くなったら下に下げて行く。何度か繰り返しても良い。身体まで違和感なくスピーカーが動くようになるとそのチャクラの雲取りは終了。

(順番は、チャクラ6番、5番、4番、3番、2番、1番、7番、8番)

☆7番、8番の身体に近いところはスピーカーを長く当てないこと。



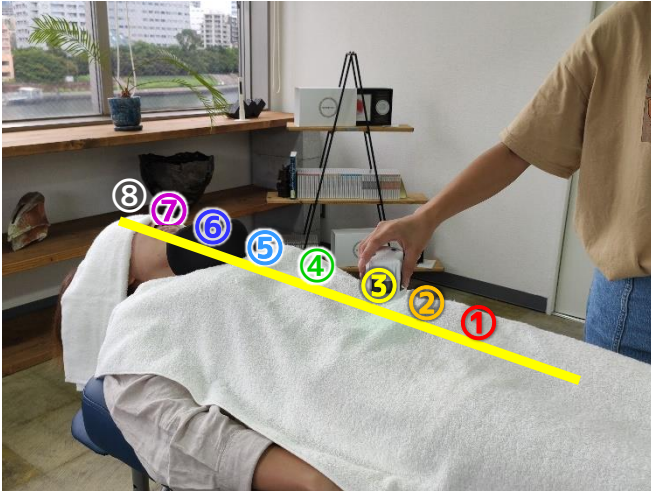
0歳の位置を決める！

ここが実年齢の位置

## 15) チャクラ位置の再確認

チャクラの位置が正しく中心に来ているかをチェックする。

特に喉元の第6チャクラが中心に来ているかは確実にチェックすることが大切。現代のエネルギー環境は喉元のチャクラがズレやすいので、何度もチェックし、確実に中央に来るようにする。



## 16) お腹の状態確認②

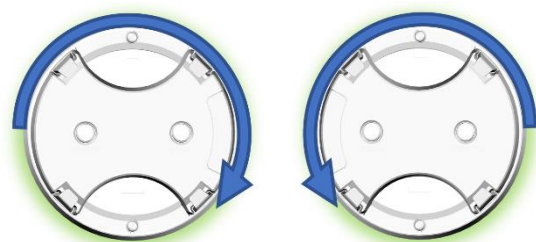
メンタル体の雲を取り、チャクラ位置を確認してから、再びお腹周りを触らせてもらい、内臓の高さを確認する。ここでも手のひらでお腹の状態を優しく触って判断する。

## 17) スピーカーの設定変更

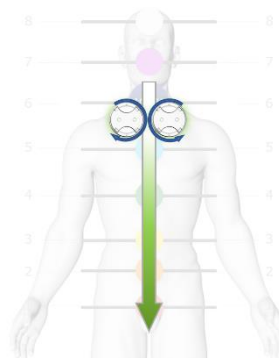
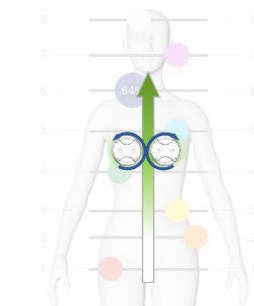
紺色のスピーカーのLED色をグリーンに変え、回転を右回転にする。



女性あお向けの場合



男性あお向けの場合

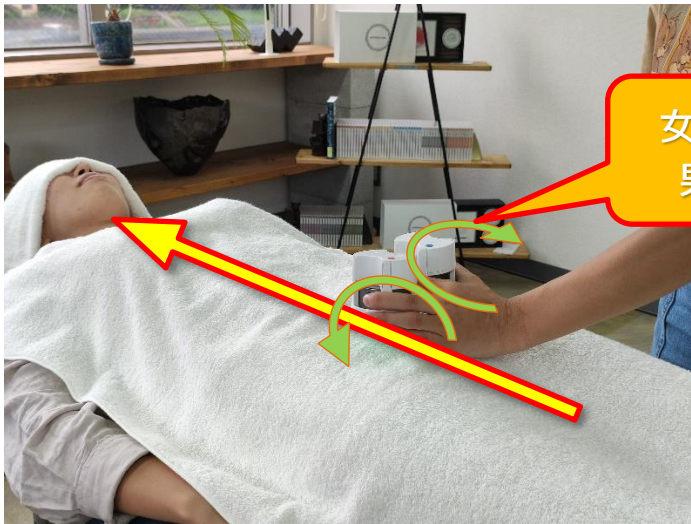




## 18) スピーカー 2 個持ちの調整

LEDがグリーンにセットされたスピーカー 2 個を持ち、身体に近いところで浮かせたまま男女のエネルギーの流れに沿って男性は首から股へ、女性は股から首方向へゆっくりと動かし調律・調整する。これを 3 回繰り返す。※スピーカーを左右の手で 1 台ずつ持っても大丈夫です！

この時、お腹の気になるところがあれば、男女のLED回転のまま、身体の中心線に沿った中央に同時に 3 個のスピーカーをしばらく置く。



※画像は女性の場合の調整方法

## 19) お腹の状態確認③

理想なお腹の位置状態になっていることを確認する（みぞおちの部分が高く、下腹部が低くなっている。中心が高く左右が対称的になだらかに下がっている）

## 20) スピーカーの設定変更

右回転にしていたスピーカーのLEDを再び左回転にて色を紺色に戻し、喉元に置きましょう。



## 21) 体全体のエネルギーの流れをつける (あお向け)

左回転のグリーンのスピーカーを手に持って、男女のエネルギーの流れに沿って素数回、回す。  
胴体、腕・足でそれぞれ素数回スピーカーを回してエネルギーの流れをつける。



・ 女性の場合胴体（股から頭の方に向けて胴体を包むように大きく円を書く）3回（または5回  
や7回）男性はその反対にスピーカーを回す。※男性は逆回転になるので注意！



・ 腕は男女ともに左腕から右腕へ3回まわす（または5回や7回）



女性は右足から左足へと回す！  
男性の場合は左足から右足へ！

- ・ 足は男性なら左足から右足へ、女性なら右足から左足へ3回（または5回や7回）

# 【うつ伏せの施術】

## 22) クライアントにうつ伏せで寝てもらいましょう。

ベッドにうつ伏せで寝てもらい、首が真っ直ぐ伸びる環境を作ります。クライアントに「タオルを掛けますね」と声をかけ、首から下の胴体、足に優しくタオルをかけます。この時、かけたタオルにシワがないように伸ばしてください。



## 23) 背骨の状態確認①

うつ伏せの施術をはじめる前に「背中を触りますね」と一声掛けてから、手のひらでやさしく背骨の状態（曲がり具合）や背骨両脇の筋肉の硬さ、背中の中の左右の高低差を判断しましょう。お尻の左右の高さ、足の左右の長さは、足元に回って目視で確認するようにします。



## 24) 頚椎 7 番に岩塩を置く

頚椎の 7 番（首を曲げた時骨が飛び出た部分）のすぐ下にタオルの上から岩塩を置く。（もし、うまく置けない場合はその近くに置く）フェイスタオルや「リラックスミニまくら」などを使い、OTOtronスピーカーを床に落とさないよう工夫をしましょう。



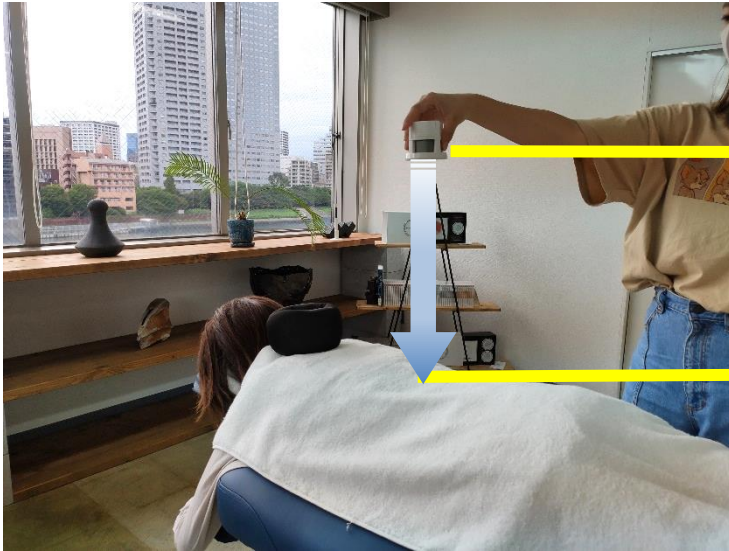
## 25) チャクラ位置の確認

紺色のスピーカーは喉の後ろあたりに置きます。次に、グリーンのスピーカーで、チャクラ位置の確認をし、その都度記録をつけましょう。（順番は、チャクラ6番、5番、4番、3番、2番、1番、7番、8番）☆7番、8番のチャクラは、素早く確認する。



## 26) メンタル体の雲を取る (うつ伏せ)

仰向けで調律・調整が上手く行っている場合、通常あまりズレは生じませんが、背面でも同様に喉元6番の位置からメンタル体の雲を取っていきます。考え方はあお向けの場合と同じです。

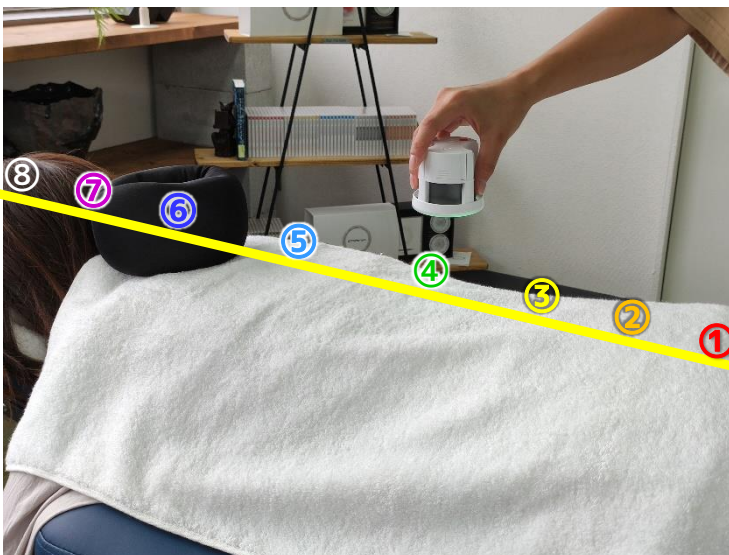


0歳の位置を決める！

ここが実年齢の位置

## 27) チャクラ位置の再確認

メンタル体の雲を取ったのち、再度チャクラが中心に来ているかをチェックしましょう。特に喉元のチャクラが中心に来ているかは確実にチェックしましょう。



## 28) 背骨の状態確認②

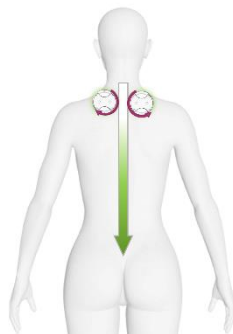
メンタル体の雲を取ったのち、クライアントに声を掛け、再び背骨両脇の硬さを確認しましょう。

## 29) スピーカーの設定変更

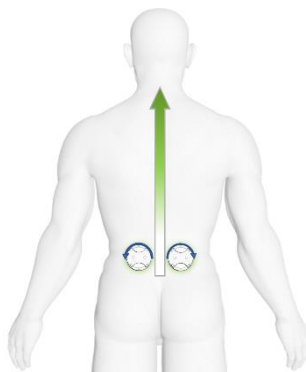
紺色のスピーカーのLED色をグリーンに変え、回転を右回転にする。



女性うつ伏せの場合

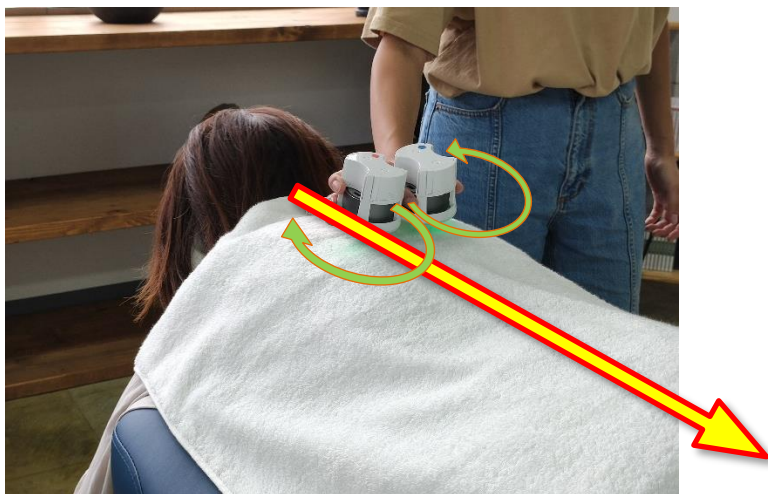


男性うつ伏せの場合



## 30) スピーカー2個持ちの調整

LEDがグリーンにセットされたスピーカー2個を持ち、身体に近いところで浮かせたまま男女のエネルギーの流れに沿って男性は股から首へ、女性は首から股方向へゆっくりと動かし調律・調整する。これを3回繰り返す。※スピーカーを左右の手で1台ずつ持っても大丈夫です！



この時、背骨や背中でお気に入りの場所があれば、男女のLED回転のまま、身体を中心に沿って同時に2個のスピーカーをしばらく置きましょう。

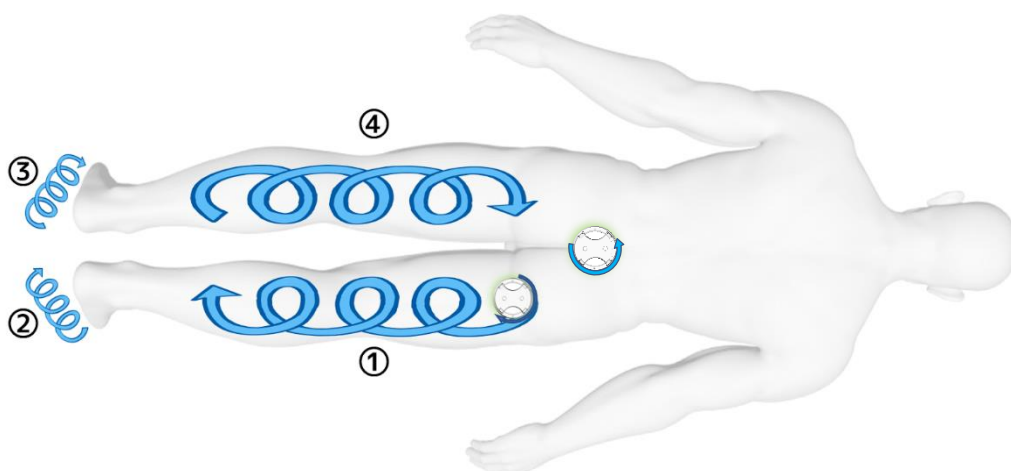
## 31) 脚でスピーカーを回す。

※このパートのみ、スピーカーを脚に当てて、マッサージの要領で施術を行います。

※この施術は1回だけ行います。

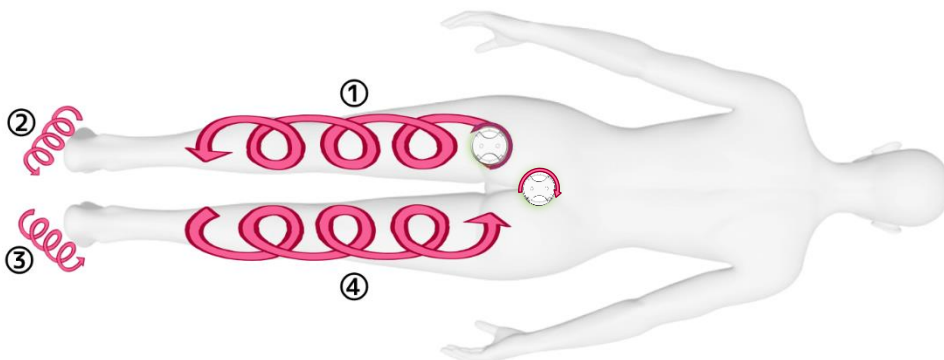
### 【男性の場合】

男性はLEDが左回転のスピーカーを仙骨（お尻の上の三角形の平たい場所）に置いてください。右回転のスピーカーを持ち、スピーカーを右に回転させながら右のお尻から太もも、ふくらはぎ、足首、そして右足裏のかかとからつま先へと、悪いエネルギーを追い出すイメージで動かします。次に、良いエネルギーを入れるイメージで左足裏のつま先からかかと、そして左足の足首、ふくらはぎ、太もも、そしてお尻に向かって調整を行います。



### 【女性の場合】

女性はLEDが右回転のスピーカーを仙骨（お尻の上の三角形の平たい場所）に置いてください。左回転のスピーカーを持ち、スピーカーを左に回転させながら左のお尻から太もも、ふくらはぎ、足首、そして左足裏のかかとからつま先へと、悪いエネルギーを追い出すイメージで動かします。次に、良いエネルギーを入れるイメージで右足裏のつま先からかかと、そして右足の足首、ふくらはぎ、太もも、そしてお尻に向かって調整を行います。





## 32) 背骨の状態確認③

理想的な背骨の位置状態になっていることを確認しましょう（背骨の左右の硬さが同じ。背骨の周りの筋肉に緊張がない。お尻の高さが左右対象。足の長さが揃っていることを目視で確認する）



## 33) スピーカーの設定変更

右回転にしていたスピーカーのLEDを再び左回転にて色を紺色に戻し、喉の後ろあたりに置く。



### 34) 体全体のエネルギーの流れをつける (うつ伏せ)

左回転のグリーンのスピーカーを手に持って、男女のエネルギーの流れに沿って素数回、回す。胴体、腕、足でそれぞれ素数回スピーカーを回し、エネルギーの流れをつける。



・ 女性の場合は図を参考に胴体は頭から股方向へ円を描きながら3回（または5回や7回）回す。  
男性はその反対にスピーカーを回す。



・ 腕は男女ともに左腕から右腕へ3回（または5回や7回）

**※うつ伏せの場合、クライアントがどの位置に腕を置くかによって回転が変わるため、腕の向きには十分注意すること！**



女性は右足から左足へと回す！  
男性の場合は左足から右足へ！  
うつ伏せなので脚の左右に注意！

・足は男性なら左足から右足へ、女性なら右足から左足へ3回（または5回や7回）

## 35) 各部位の調整

基本的に、チャクラの調律・調整や仰向け、うつ伏せの調整、全体のエネルギー調整ができていれば、手足の部分的な痛みが残る事はありませんが、それでも手足等の調律・調整が必要と判断された場合は、紺色のスピーカーのLEDをグリーンにセットします。

グリーンLED左回転のスピーカー2個で、手足の気になるところや痛いところがあればそこに置くか、または、スピーカーで気になる部位を挟んで調整をします。

## 【座った状態の施術】

### 36) 上体を起こしベッドに座ってもらいましょう。

クライアントに、上体を起こすよう声をかけ、施術者に背中を向けるようにしてベッドに腰掛けてもらいましょう。

### 37) フェイスタオルを首にかける

フェイスタオルを首にかけ、うなじまでタオルで覆って下さい。



### 38) スピーカーの設定変更

紺色のスピーカーのLED色をグリーンに変え、回転を右回転にする。



↑女性の場合



↑男性の場合

### 39) 盆の窪にスピーカーを当てる

タオルの上から盆の窪（頭蓋骨のすぐ下、首の骨の両脇の窪みのある辺りのところ）にスピーカーを当てます。LEDは男女のエネルギーの流れに沿った回転にして当ててください。スピーカーは、松果体の方向（脳の中心、目の真裏）へ向かうように音を当てます。時間は30秒くらいです。



これは女性の場合です！  
男性はスピーカーの左右が  
入れ替わるので注意！

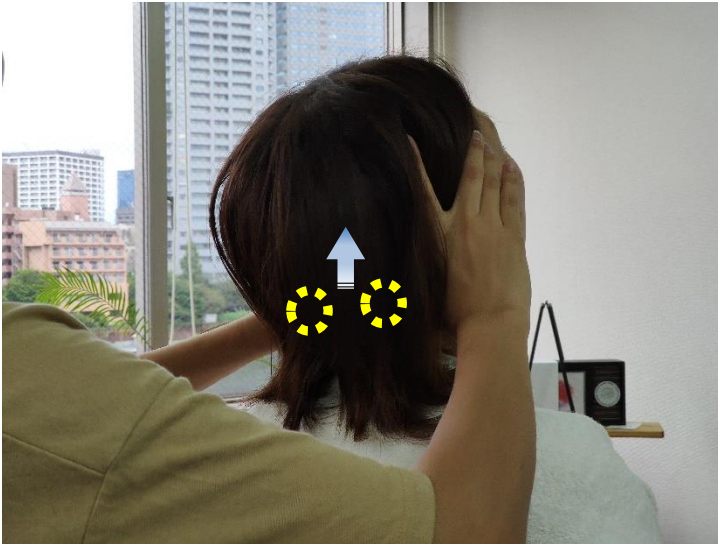
### 40) 首と頭蓋骨位置の調整①



スピーカーを外して脇に置き、右親指で右の盆の窪を押さえ、右の中指で右のこめかみ（目の横の凹んだ場所）を押さえる。左の親指で左の盆の窪を押さえ、左の中指で左のこめかみを押さえる。

## 41) 首と頭蓋骨位置の調整②

次に「顎を上げてください」と声をかけて、クライアントに顎を上に向けてもらってください。このとき施術者から見ると、盆の窪の親指と中指が上に向くような関係になるので、この状態で「息を吐いてください」と声をかけ、軽く1センチほど上方に優しく頭全体を持ち上げ、首を伸ばします。



## 42) 首と頭蓋骨位置の調整③

クライアントに顎を自然に戻してもらい、親指で盆の窪の左右の硬さを比較します。

親指に感じた左右の硬さが同じであれば、施術は終了です。

どちらかが硬い場合、硬い方へクライアントに3回、息を吐いてもらいながら向いてもらいましょう。※右が硬い場合なら右に3回向いてもらう。左右には回さないようにする。



親指が硬いと感じた方向にのみ  
3回ゆっくり回す。  
左右に回してはダメ！

その後、もう一度親指で盆の窪の左右の硬さを比較しましょう。

親指で感じる左右の硬さが均等で、筋肉がリラックスしている状態になれば施術は終了となります。もし、どちらかが硬い場合には、上記の39)からの手順をリピートしてください。

## 43) 施術の仕上げ

最後に片手で背骨を首から下へ軽く撫でて施術は終了となります。



## 補足

### \*ベッドの向き

ベッドの向きは頭が北、足は南が理想ですが、場合によっては南北が逆転しても大丈夫です。どうしても北南にベッドを配置できない場合は、頭側が北であると施術者が決めて施術をおこなってください。

### \*水への情報転写について

転写用スピーカーでお水にチャージする場合は、ペットボトルのキャップは白で、周りのフィルムを剥がし、ペットボトルを横向きに置いてください。キャップに文字やマークがないものを使用しましょう。（転写時間は最低15分ほどですが、施術中は最初からずっと置いておくと良いです）

## **\* アルミホイルの巻き方**

ペットボトルの大きさによるが、大体30から50cmほどの光沢が強いキラキラした面を外側にして縦方向に置く。男性の場合は、音転写後のペットボトルを、キャップを左にして置き、手前から巻いていく。女性の場合は逆で、ペットボトルのキャップを右にして置き、手前から巻いていく。ペットボトルの透明の部分が見えないようにアルミで綴じるようにします。

## **\* 情報転写水の保存について**

イーマ・サウンドの音を転写したペットボトルの水は、常温で保存をお願いします。

冷蔵庫に入れてしまうと、振動が下がってしまうためです。

水の残りが3分の1ぐらいまで減ったときは、常温のミネラルウォーターなど普段飲む水を足してください。ただし、味のついたレモン水など、糖類を含むものは入れないでください。

また、冷蔵庫での冷蔵保存や、料理に使用して加熱はしない。温かいものや冷たいものを飲みたい場合は、お味噌汁やジュースなどに混ぜて飲むこと。

お風呂に入れたい場合は、コップ一杯分ぐらいを入れると良いです。転写した水にアルミを巻いておけば、約3ヶ月は振動が保たれます。ペットボトルにお水を足した場合、ペットボトルを振る必要はなく、瞬時に振動は転写されますので、すぐお使いいただけます。

## **\* バスタオル類について**

施術の際に使用するバスタオルやフェイスタオルはできるだけ無地の白を推奨します。



# 【施術に関する注意事項】

## 1. 施術時の姿勢について

1. 手順ではあお向けの姿勢からスタートするのが基本となります。どうしてもあお向けになれないような場合（高齢で腰が曲がってる等）は、うつ伏せの施術からはじめて、後からあお向けの施術を行うようにしても構いません。
- 2) 妊産婦でうつ伏せができないような場合は、横向きで施術を行うようにしても大丈夫です。ただし、横向きで行う場合は、首と背骨が一直線となるように、枕の高さの調整をおこなってください。

## 2. 施術の音源に関して

- 3) 日本では、妊産婦に電磁波の出るものを当ててはいけないという規制があるため、必ず妊産婦の許可をもらってから施術を行うようにしてください。
- 4) 妊産婦に音をあてる場合は、女性器（子宮、卵巣、卵管）の音は避けるようにしてください。胎児の性別には関係なく、妊産婦本人の調律・調整を行いましょう。
- 5) バッチフラワーの音の選択は打ち消し合う可能性があるため、多くても2つから3つを目安にする。宝石の音は同じ系列の音であれば、同時に使用しても良い。
- 6) シニアプラクティショナーの「パーソナルケア」の音源は、クライアントに紹介する場合や、自分自身で使う時に使う音源なので、施術には使用しないこと。また、施術用の音源とパーソナルケアの音源を混ぜて使用しないこと。

## 3. 施術に関して

- 7) 体内にステントやボルトなど金属類が入っている場合は、その場所に長くスピーカーを使用しないようにしてください。

8) 最初にスピーカーを置いただけで頭痛がすると言われるなど、問題が起きた場合は、速やかにイーマ・サウンドの音源を止め施術を中止してください。\*痛みを取るには、本人の声で「ラー」と声を出しながら岩塩体操をして痛みが消えるまで続けていただくこと。

9) スピーカーから聞こえる音が聞こえない場合や、極端なノイズが入るなどの場合(※)は、一旦音を止めて電源を切り、最初からセットアップをやり直してから調律・調整を行ってください。

※Bluetoothスピーカーなので、ごく短いノイズが入る分には問題ありません。

10) 各音源のボリュームは、20~30位からはじめ、クライアントの反応を見ながら、徐々に大きくし、概ね50以下を目安に運用する(クライアントの反応を見て、ボリュームを調整する)  
一般に音を重ねるほどに音圧は高くなるため、音が割れてしまうほど大きな音量設定にはならないように留意してください。

11) 音量は大きければ効果が高いワケではありません。プラクティショナーとクライアントの双方が心地良いと感じる辺りを目安に音量の調整をお願いします。

## 【禁止事項】

- 1) イーマ・サウンドの音源（CD音源の音を含む）は、必ず水の膜を貼ったスピーカーから使用すること。イヤホンやヘッドホンで直接、耳からは絶対に聞かないこと！
- 2) 運転中は使用禁止です。イーマ・サウンドは、 $\alpha$ 波の出る音を使うため、音が共振すると、瞬時に眠気を引き起こします。運転中は絶対使ってはいけません。
- 3) 「パーソナルケア」の収録音源は、「活性化」と、「静寂・休息」のように、真逆の特性を持つ音源も収録されているためこの音源を2つ以上同時には使用しないでください。また、「パーソナルケア」の音源は、1つの音の中に沢山の音源が組み合わせられて収録されているため、他の音源とは一緒に使用しないでください。

